小5　社会　単元テスト　　なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

米づくりのさかんな地域

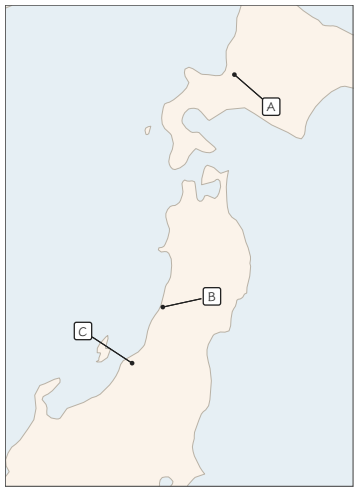
＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

制限時間 30分　100点満点　　教科書やノートを見ないで、時間をはかって解きましょう。

1 米づくりのさかんな平野　知識・技能　(18点)

(1) A～Cの平野の名前を書きましょう。(1つ4点)　(12点)

A [　　]　B [　　]　C [　　]



(2) Cの平野を流れ、日本でいちばん長い川を書きましょう。[　　]　(6点)

2 米づくりと農家のくふう　知識・技能　(32点)

(1) 田に水を入れて、土をくだいて平らにする作業を [　　] といいます。　(6点)

(2) 夏に田の水をぬいて土をかわかし、いねの根をじょうぶにする作業は　(4点)

（ 中ぼし ・ 田おこし ・ だっこく ）です。

(3) いねかりとだっこくを同時に行う機械は　(4点)

（ コンバイン ・ トラクター ・ 田植え機 ）です。

(4) 「小さく分かれた田を大きな長方形の田に整え、機械を使いやすくすることを品種改良といいます。」下線が正しければ ○、ちがえば直しましょう。　(6点)

[　　]

(5) 国が、米の生産量をへらすように農家に求めてきた取り組みを [　　] といいます。　(6点)

(6) 農家から米を集めて出荷したり、肥料を売ったり、米づくりの相談にのったりする組織を [　　] といいます。　(6点)

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら

小5　社会　単元テスト　　なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

米づくりのさかんな地域　2まいめ

3　グラフを読もう　知識・技能　（20点）

(1)　労働時間がいちばん少ない年は □ 年です。　（6点）

(2)　1965年から1980年までに、労働時間はおよそ何時間へりましたか。　（5点）

□

ア 40時間　　イ 80時間　　ウ 120時間

(3)　2015年は、1965年のおよそ何分の1ですか。□　（5点）

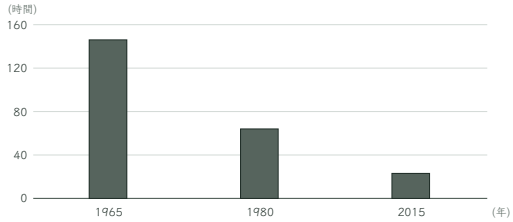
ア 2分の1　　イ 3分の1　　ウ 6分の1

(4)　へり方が大きいのは　（4点）

（ 1965～1980年 ・ 1980～2015年 ）

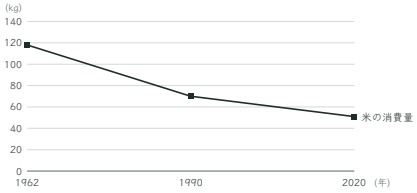
です。

10アールあたりの米づくりの労働時間（農林水産省の統計から。数はおよそ）



4　考えて書こう　思考・判断・表現　（30点）

(1)　消費量がへる中で米を多く作り続けると、農家にはどんな問題が起こりますか。　（15点）

(2)　農家が新しい品種など、味のよい米づくりに取り組むのはなぜですか。グラフの数にふれて書きましょう。　（15点）

1人1年あたりの米の消費量（農林水産省の統計から。数はおよそ）